

# さすがは 火消しのテツ

©ゴング格

異色の交流戦は4分23秒で消火完了。  
次は全日本・金沢久幸戦に出動命令!



○パンチが当たるとすかさずヒジを放った井上。「練習の半分はヒジで、右のヒジしか狙ってなかった」という作戦がハマった。

○初回の動きは悪くなかったが、「負けて得たことを生かさないと。負けただけで終わっちゃうんで、またやりたいです」と西山はリベンジ宣言。



○井上のコメント「対抗戦だし、負けたら大変なことになりますからね。ホッとしました。彼より突出している技術はないと思います。運が半分で、勝ってやろうという意識の差だけじゃないですかね」

■参考記録

	(ジャッジ) 小川	(ジャッジ) 小林	(ジャッジ) 松本
	西山・井上	西山・井上	西山・井上
1 R	10:10	10:10	10:10



○ヘビー級/長谷川康也(J・NET・アクティブJ)「判定3-0」サンダー・シンジ(MA・山本)3回、左ストレートでダウンを奪った長谷川が判定勝利。ほぼワンサイドながら倒し切れず、ヘビー級の醍醐味は伝わってこなかった。



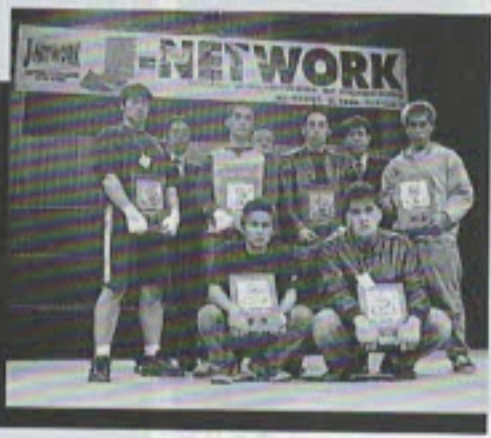
現役東大生と東京消防庁職員という肩書きは、両者のネームバリュー以上に試合前の興味を引き立てた。色物対決で終わる危険性もあったが、その心配は杞憂に終わった。積極的に攻撃を仕掛けるタイプではなかった両者だが、対抗戦独特の雰囲気も手伝い、試合は予想以上に白熱したのだ。初回、井上はローにことごとく右ストレートを合わされ、ローを入れては素早く下がる西山のスピードについていけないように見えた。インターバルの間、井上はヒジをどうやって当てようか考えてい



## MAKING THE ROAD- II

J・NETWORK  
2月26日 東京・北沢タウンホール

▼J・NET・MA対抗戦/64kg契約  
MAライト級王者  
○井上 哲  
(山本/18歳/63.30kg/34歳  
12勝(5KO) 7敗7分  
2回 TKO 1分23秒  
J・NETWORKライト級王者  
●西山誠人  
(ソータラダ/17歳/63.95kg/24歳  
7勝(4KO) 1敗



### 2000年・年間表彰者

- MVP 増田博正 (ソーチタラダ)
- 特別賞 西山誠人 (ソーチタラダ)
- 新人賞 吉本光志 (アクティブJ)
- 波辺二郎 (サバーイ町田)
- 敢闘賞 浦林 幹 (アクティブJ)
- 殊勲賞 長谷川康也 (アクティブJ)

「相手が強くても弱くても戦い方が変わらないという安定感があったので、倒す自信を身に付けてしまえば、長期政権になると思いますよ」と、山木会長は期待以上の結果を出した井上に、5・20全日本王者・金沢久幸との対抗戦を用意した。期待してくるのは嬉しいです。だからといって自分自身の野望はまったくありませんよ。与えられたチャンスをこなせばいいな、という感じですよ」と、自然体の井上から気負いは感じられない。ただ、「連盟のメンツを潰したくない」という意識は人一倍。団体の看板を背負った。火消しのテツに当分休みはなさそうだ。

(M)